

文章の要旨をえらぼう

なまえ _____

小6／文章を読んで、筆者の主張（要旨）としてもっとも適切なものを1つえらびましょう

ひょうけ

1 読書の力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

本を読むと、行ったことのない場所や、会ったことのない人の考えにふれることができる。自分とはちがう立場や時代を生きた人の思いを知ること、ものの見方が広がっていく。読書は、自分の世界を大きく広げてくれる営みなのである。

- 1 読書は時間のむだである。
- 2 読書は自分の世界を広げてくれる営みである。
- 3 本には自分と同じ考えしか書かれていない。
- 4 読書ではものの見方は変わらない。

2 自然とのつき合い方を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

人は自然から多くのめぐみを受けて生きている。しかし、自然を思うままに変えようとするれば、災害という形でしっぺ返しを受けることもある。自然を支配するのではなく、そのしくみを理解し、うまくつき合っていく姿勢が大切だ。

- 1 人は自然を思うままに支配すべきだ。
- 2 自然からめぐみは受けていない。
- 3 自然のしくみを理解し、うまくつき合う姿勢が大切だ。
- 4 自然は人と関係なく存在している。

3 時間の使い方を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

時間はだれにでも一日二十四時間と平等にあたえられている。しかし、その使い方しだいで、身につくものは大きく変わる。何となく過ごすのではなく、自分にとって大切なことに時間をかける人が、実りの多い毎日を送ることができる。

- 1 時間は人によって長さがちがう。
- 2 時間はどう使っても結果は同じだ。
- 3 大切なことに時間をかける人が実りの多い毎日を送る。
- 4 時間は気にせず過ごすのがよい。

4 協力の力を よんで、この文章の要旨として、もっとも適切なものを1つえらびましょう。

一人でできることには限りがある。しかし、それぞれが得意なことを持ちより、力を合わせれば、一人では成しとげられない大きなことも実現できる。たがいの長所を生かして協力することは、集団が大きな成果を上げるための鍵である。

- 1 一人でできることに限りはない。
- 2 協力してもよい成果は生まれない。
- 3 たがいの長所を生かした協力が大きな成果の鍵である。
- 4 得意なことは持ちよらないほうがよい。

🔍 いちごドリル プリント